

2 研究の実際 > (2) 活動プログラムの実際

イ グルーピングのためのマニュアル

ペアやグループでの活動を円滑かつ効果的に進めるために意図的なグルーピングを行いました。

1. アセスメント(実態把握)

○活動プログラム実践前に学級内の集団や個人の状態を把握します。

- ・「トラブルについてのアンケート」
- ・「Q-U」アンケート又は「がばいシート」

活動前

すぐに  
使える

- ・「トラブルについてのアンケート」
- ・「がばいシート」

2. グルーピング1回目

○活動プログラム「①怒りについて知る」の実践に向けて

約1週間前に  
行います。



【取扱注意】

No.	氏名	「Q-U」アンケートより(月 日実施)		担任等の観察(月 日現在) ※該当する項目にチェックをしてください				グループピング ※普段、関わりが少ない児童・生徒を組み合わせる	
		友達関係	学級の雰囲気	「怒り」について知る		この一週間で、トラブルがあった	友達との関わりが苦手である		友達に対して気遣いができる (◎か○を付ける)
		合計得点(12点以下にチェック)		怒ったときに、傷付けたりする	些細なことで、怒りやすいタイプである				

「がばいシート」版もあります。

著作権法に基づき、記載していません。

グループピング1回目

- ★学校で行う心理検査を有効に活用し、児童生徒理解を深めることができます！
- ★様々なペアやグループでの活動で使うことができる便利なシートです！記入例を見ながら入力しましょう！
- ★授業実践の1週間程前にグルーピングをします！
- ★日頃からグルーピングの視点をもって児童生徒の様子を観察しておく、短時間で記入することができます！
- ★複数の先生で話し合いながら記入することで、児童生徒に対する共通理解を深めることができます！

★トラブルが起きるときに抱く「怒り」の感情を取り扱うため、日頃の関係性や「怒り」の感情に関する児童生徒のタイプ等を考えて組むことが大切です！



3. 活動プログラム「①怒りについて知る」の実践

様々なペアやグループでの活動で使うことができます。

①怒りについて知る

- ・配慮を要する児童生徒には学習内容を事前に伝えます。
- ・机の配置、ペアやグループでの活動の順番を示すなどの工夫をすることが大切です。
- ・「グループ活動アンケート」(1回目)は、授業が終わってから記入させます。
- ・授業後の児童生徒の様子を観察しておくことが大切です。また、通信等で授業の様子や児童生徒の反応等を家庭に知らせるなどして、家庭での見守りをお願いすることを勧めます。

グループ活動アンケート

( )年( )組( )号 名前( )

1 今日一緒に活動した相手は、だれでしたか？

名前	名前	名前	名前
----	----	----	----

2 ペアやグループでの活動について、あてはまるものを□で囲みましょう。

(1) 今日一緒に活動した相手のことを、もっと知りたいと思いましたか？

□ 思った □ 少し思った □ あまり聞けなかった □ 聞けなかった

その理由を教えてください。

(2) 今日一緒に活動した相手と、楽しくなれたと感じましたか？

## 4. グルーピング2回目

○活動プログラム「②トラブル未然防止のスキル」の実践に向けて



### Peer・mediation Intentional Grouping

「ピア・メディエーションに関する活動プログラム」実践のための意図的なグルーピング

【取扱注意】

ピア PIGシート① (小学校)		振返 ①	振返 ②	グループ活動 アンケート [実施日 / ]			担任等の観察 [実施日 / ]	グループの編成	
No.	氏 名	学習に 進んで 参加で きた	学習に 進んで 参加で きた	活動した 相手をも っと知 りたいと 思う	活動した 相手と親 しくな れたと 思う	活動した 相手とま た一緒 に活動 したい		押しつけ さん	怒りに ついて 知る
						次回の活動に配慮を要する児童 <input checked="" type="checkbox"/>	さわやかさん (◎か○)	もじもじさん 自分の意見がうまく言えない <input checked="" type="checkbox"/>	トラブル未然防止のスキル
1	○						相手のことを考えて発言できる		
2	○						押しつけさん 一方的に自分の考えを押し付ける <input checked="" type="checkbox"/>		
3	○								

「①怒りについて知る」のアンケート結果を転記します。

グルーピング2回目



- ★「PIGシート①」の記入例の手順に従って入力していくと、グルーピングがスムーズにできます！
- ★授業実践の1週間程前にグルーピングをします！
- ★日頃からグルーピングの視点をもって児童生徒の様子を観察しておく、短時間で記入することができます！
- ★複数の先生で話し合いながら記入することで、児童生徒に対する共通理解を深めることができます！
- ★トラブルになりそうな場面を取り扱ってロールプレイングで練習するため、同じトラブルの場面を経験したり、トラブルが継続したりしている児童生徒同士の組み合わせは避けま

## 5. 活動プログラム「②トラブル未然防止のスキル」の実践

②トラブル未然防止のスキル

- ・配慮を要する児童生徒には学習内容を事前に伝えます。
- ・机の配置、ペアやグループでの活動の順番を示すなどの工夫をすることが大切です。
- ・「グループ活動アンケート」(2回目)は、授業が終わってから記入させます。
- ・この時間は、ロールプレイングが組まれているため、約束事を確認してから活動に入ります。
- ・ロールプレイングを行うときに、発達の段階に応じて、教具(役割カード、表情カード等)を使用することもできます。
- ・授業後の児童生徒の様子を観察しておくことが大切です。また、通信等で授業の様子や児童生徒の反応等を家庭に知らせるなどして、家庭での見守りをお願いすることをお勧めします。



きく役



話す役



実際の授業の様子

## 6. グルーピング3回目

○活動プログラム「③トラブル解決のスキル」の実践に向けて



【取扱注意】

グルーピング3回目

ピア PIGシート② (小学校)		振返 ③	振返 ④	グループ活動 アンケート [実施日 / ]	担任等の観察 [実施日 / ]	グループの編成
No.	氏 名	学習に進んで参加できた	学習に進んで参加できた	活動した相手と親しくなれたと思う 活動した相手をもっと知りたいと思う	この一週間で、友達とのトラブルがあった 「1」が多い	※グルーピングに関する担任の見取りを記入 （例）要支援群（「Q-U」アンケート）、 不登校傾向、「Oさん」とは×、 事前説明が必要、◇◇部に在籍 な
理由などの 特記事項				今回の活動に配慮を要する児童 <input checked="" type="checkbox"/>	相手のことを考えて発言できる （◎か○）	トラブル未然防止のスキル

「②トラブル未然防止のスキル」のアンケート結果を転記します。

★「PIGシート②」の記入例の手順に従って入力していくと、グルーピングがスムーズにできます！

★授業実践の1週間程前にグルーピングをします！

★日頃からグルーピングの視点をもって児童生徒の様子を観察しておく、短時間で記入することができます！

★複数の先生で話し合いながら記入することで、児童生徒に対する共通理解を深めることができます！

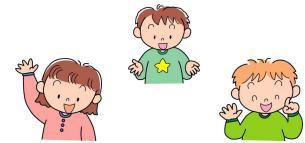


★トラブルの場面を取り扱ってロールプレイングで練習するため、「トラブルについてのアンケート」で声掛けの意識の低い児童生徒同士の組み合わせは避けます！

## 7. 活動プログラム「③トラブル解決のスキル」の実践

③トラブル解決のスキル

- ・配慮を要する児童生徒には学習内容を事前に伝えます。
- ・机の配置、ペアやグループでの活動の順番を示すなどの工夫をすることが大切です。
- ・「グループ活動アンケート」（3回目）は、授業が終わってから記入させます。
- ・この時間は、ロールプレイングが組まれているため、約束事を確認してから活動に入ります。
- ・ロールプレイングを行うときに発達の段階に応じて、教具（役割カード、表情カード等）を使用することもできます。
- ・授業後の児童生徒の様子を観察しておくことが大切です。また通信等で授業の様子や児童生徒の反応等を家庭に知らせるなどして、家庭での見守りをお願いすることをお勧めします。



実際の授業の様子

## 8. 事後の実態調査

活動後

○活動プログラム実践後の学級内の集団や個人の状態を把握します。

- ・「トラブルについてのアンケート」
- ・「Q-U」アンケート又は「がばいシート」